

きのこ毒

長野女子短期大学 山浦由郎

1, きのこ中毒の疫学

- 1) 中毒発生状況(件数, 年次別, 地域別)
- 2) 毒きのこの種類別発生状況
- 3) 中毒発生形態の変化: 野外パーティー, 飲食店などの集団化, 観光地みやげ店などでの広域化

2, キノコ中毒予防の行政対応

- 1) 中毒防止に関する知識の普及, 啓発
- 2) 中毒予防月間(講習会, 展示会などの開催)
- 3) きのこ衛生指導員制度(長野県)
- 4) 諸外国(ヨーロッパ)での対応

3, きのこ 毒による健康障害

- ・急性: 有毒成分によって起こる偶発的中毒
- ・慢性又は潜行性: 有害成分によって起こる健康障害(不確実性, 未知のリスク)

1) 毒きのこの作用別分類

- (1) 消化器障害型: ツキヨタケ, クサウラベニタケ, カキシメジ, ドクヤマドリ, ネズミシメジ
- (2) 神経障害型(知覚及び神経系症状): 副交感神経刺激型(ムスカリン様); オオキヌハダトマヤタケ, アセタケ 副交感神経麻痺型(アトロピン様); テングタケ, ベニテングタケ, ハエトリシメジ 中枢神経麻痺型(幻覚剤様); シビレタケ, ヒカゲシビレタケ, オオワライタケ 末梢血管運動神経刺激型(肢端紅痛症); ドクササコ ジスルフィラム型(アンタピユース様); ホテイシメジ, ヒトヨタケ, スギタケ
- (3) 原形質毒性型(致死率が高い): コレラ様症状, 肝臓, 腎臓障害型; ドクツルタケ, シロタマゴテングタケ, タマシロオニタケ, テングタケモドキ 溶血障害, 心機能不全型: ニセクロハツ 毛細血管など循環器障害型: カエンタケ

2) 有害成分を含み健康障害を起こす(可能性を含む)きのこ

- (1) ヒドラジン系化合物 (アガリチン): ツクリタケ(マッシュルーム), アガリクス(カワリハラタケ, ヒメマツタケ), シイタケ (有害作用) 変異, 発がん性, 肝障害
- (2) シアン産生菌: ニオウシメジ, スギヒラタケ, マイタケ, エリンギ (有害作用) 吐き気, 下痢
- (3) ホルムアルデヒド: シイタケ (有害作用) 皮膚炎, 嘔吐, 下痢
- (4) カダベリン: マツタケ (有害作用) 腹痛, 吐き気, 嘔吐
- (5) その他有害成分を含むもの: 放射能(Cs-137); カバノアナタケ, アンズタケ カドミウム; ハラタケ属(ツクリタケ, アガリクスなど)

4, 今後のきのこ毒の課題

- 1) 天然及び栽培きのこの有害成分の検索
- 2) 健康食品・サプリメントの原料きのこの安全性の検討
- 3) きのこと医薬品との相互作用